

わっさむ開村100周年記念事業

様々な団体で、開村100周年を記念した事業がおこなわれています。

北海道歌旅座公演

with 和中音楽部



7月11日(土)、恵み野ホールで同実行委員会主催の公演会が開催されました。

冒頭から、和寒中学校音楽部が透き通った歌声を響かせると、歌手のJUNKOさんがギターにのせて「愚か者」や「ハルニレの詩」などで観客を魅了しました。

公演の第2部では、青春群像を描いた音楽劇「クライマーズSHOW東京物語」が昭和の名曲にのせて演じられ、訪れた観客は懐かしい昭和の時代を思い出しながら、思い思いに楽しんでいました。



北・北海道岳風会所属和寒支部 創立55周年記念吟道大会



7月20日(月・祝)、創立55周年を迎えた北・北海道岳風会所属和寒支部(西村雄一支部長)が吟道大会を開催し、和寒支部の会員や近隣市町村の会員ら約60人が参加しました。

大会では独吟や連吟のほか、華道とともに吟じる華道吟や、日本舞踊に合わせて吟じる詩舞吟が披露されました。

創立から5代目となる西村支部長は、「現在の会員は15人と少なくなりましたが、1年でも長く詩吟を続けていきたい。」と気持ちを新たに活動が続けていく決意を語っていました。



どんとこい! わっさむ夏まつり



第13回を迎えたどんとこい! わっさむ夏まつりが、7月26日(日)にふれあいのもりで開催されました。

例年家族連れに大人気の「カブト虫王国」は朝から長蛇の列ができ、子どもたちは釣り上げたカブト虫を満足げに見つめていました。

ステージでは、嗚呼ワットサムによさこい演舞や剣淵のジュニアチアリーダーディング、ご当地ヒーローの龍神リョウガショー、ジャグリングなどがおこなわれ、会場は大きな歓声と拍手に包まれていました。

途中からはあいにくの雨模様となってしまいましたが、道内各地から訪れた観光客は夏休みのひとときを楽しみ、和寒で貴重な思い出をつくりました。



日ハム野球スクール



8月11日(火)、町営球場でWASSAMU日ハム会とまちの整骨院共催で野球スクールが開かれ、講師に日本ハムファイターズで活躍した金村曉さん、稲田直人さんを招きました。

会場には剣淵町と和寒町の野球少年と保護者が大勢集まり、子どもたちはやや緊張した面持ちで練習に臨みました。

午前中はキャッチボールから始まり、ピッチングや守備、バッティング練習をおこない、プロの技術を学ぶ貴重なチャンスを活かそうと、真剣に取り組みました。

午後からは2チームに分かれて紅白戦をおこない、金村さんがピッチャーとして急きょ登板するなど、和気あいあいとした雰囲気の中で野球を楽しみました。

